

令和3年度 事業計画

当協会は、本道における体育・文化及び産業の普及振興を図り、道民の福祉の向上を目的とし、次の各種4事業を行う。

① スポーツ普及振興を図るため、施設を有効に活用し、「生涯スポーツ」をコンセプトとする各種スポーツ教室を実施するほか、施設を利用した各種スポーツ競技会や大会等を主催、共催及び後援する。

また、② 生活文化の向上を図るため、一般財団法人の性格を活かした各種事業を実施する。

税法上の課税対象となる収益事業については、③ 施設の管理運営を行う道からの指定管理業務及び④ その他の収益事業としてイベント事業等及び物品販売・貸出・飲食のサービス事業等を適切に行い、体育文化の向上及び産業の発展・振興に努める。

また、第4期指定管理者として4年目を迎え、2施設（道立真駒内公園、道立野幌総合運動公園）の指定管理業務の適切な対応に努める。

（主な事業）

I スポーツ普及振興事業

- 1 各種スポーツ教室の開設
- 2 各種スポーツ競技会・大会等の開催及び後援

II 生活文化向上事業

- 1 生活文化向上に係わる各種事業の実施

III 施設管理運営事業

- 1 北海道立真駒内公園の公園施設の指定管理業務
- 2 北海道立野幌総合運動公園の公園施設の指定管理業務

IV その他収益事業

- 1 物品販売・貸出及び飲食事業

【Ⅲ 施設管理運営事業】

1. 北海道立真駒内公園の公園施設の指定管理業務

(1) 真駒内公園

区 分	期別	期 間	内 容
1. 公園の利用計画	夏期	4月～11月	・一般利用(散策、遠足、ジョギング、マラソン等) ・自由の広場(少年野球、ソフトボール、グランドゴルフ等)
	冬期	12月～3月	・一般利用(散策、ジョギング等)
2. 施設の管理			・芝生(芝刈等)、樹木(剪定、倒木処理、生垣刈込、冬囲い等)の維持管理 ・清掃、警備(園内巡回)等 ・有料駐車場 4月29日～11月3日(土、日、休日) ・札幌市南区少年軟式野球連盟と協働で、自由の広場の草刈作業を実施

(2) 屋内競技場

区 分	期別	期 間	内 容
1. 競技場の利用計画 (1)本館	夏期	4月上旬～12月上旬	・個人及び一部利用(バドミントン、卓球、ソフトテニス等)
	冬期	12月下旬～2月下旬	・個人利用(スケート)
	通年	4月1日～3月31日	・個人利用(ウェイトトレーニング) ・個人利用(ランニングコース…… 2階・1周314m、3階・1周約316m) ・全部利用(アマチュアスポーツの競技会・練習会、研修会・講習会・集会、展示会、その他の催物) ・観覧(一般観覧) ・会議室及び施設設備利用(観客用椅子・放送設備・電光掲示盤等)
(2)附属体育館	通年	4月1日～3月31日	・全部利用 ・個人及び一部利用(バドミントン・卓球・フットサル他)
2. 施設の管理			
(1)保守管理等			・電気・機械設備、整氷等の保守業務、清掃、警備業務等 ・施設の修繕等維持管理
(2)休場日			・夏期は第1、第3火曜日 ・冬期は第2・第4火曜日及び12月31日～1月3日
(3)夏期冬期切替整備日			・夏期 令和2年度3月中にフロアパネル敷設作業終了予定 ・冬期 12月中旬(フロアパネル撤去格納) 12月下旬(製氷作業)

(3) 屋外競技場

区 分	期別	期 間	内 容
1. 競技場の利用計画	夏期	4月下旬～11月上旬	・個人及び一部利用(テニスコート1面)
	冬期	12月中旬～2月中旬	・個人利用(スケート)
	通年	4月1日～3月31日	・個人利用(トレーニング) ・観覧(一般観覧) ・全部利用(アマチュアスポーツの競技会・練習会、研修会 ・講習会・集会、展示会、その他の催物) ・会議室及び施設設備利用
2. 施設の管理			
(1)保守管理等			・清掃、電気・機械設備等の保守業務、警備、整氷等 ・施設の修繕等維持管理
(2)休場日			・第1、第3火曜日及び12月29日～1月3日
(3)夏期冬期切替整備日			・夏期 4月1日～4月下旬(多目的運動場の除雪、清掃整備) ・冬期 12月上旬～12月中旬(スケートリンク製氷作業) ・夏期 3月上旬～3月31日(多目的運動場の除雪、清掃整備) * 整備期間中は、トレーニング、観覧、会議室のみ利用

2. 北海道立野幌総合運動公園の公園施設の指定管理業務

区 分	期別	期 間	内 容
1. 公園の利用計画			
(1)公園	通年	4月1日～3月31日	・一般利用(散策、遠足、ジョギング、マラソン、歩くスキー等)
(2)水泳プール	通年	4月1日～3月31日 (1月4日～3月12日 まで休止)	・全部利用又は個人利用 (2槽)(競泳・水泳用 50m×22m) (飛込用 22m×22m) (観覧席 1,000名)
(3)メインアリーナ	通年	4月1日～3月31日	・全部利用又は個人利用(バスケットボール2面、ハンド ボール 1面、バレーボール 3面、テニス 3面、バドミントン 10面他、観覧席600名)
(4)サブアリーナ	通年	4月1日～3月31日	・全部利用又は個人利用(バスケットボール 1面、バレー ボール 1面、テニス 1面、バドミントン 3面)
(5)テニスコート	夏期	4月24日～11月23日	・全部利用又は一部利用 (全天候型オムニコート 18面 ベンチスタンド 1,300名、芝生スタ ンド 800名)
(6)ホッケー・サッカー場 ・人工芝 ・天然芝	夏期	4月24日～11月23日 (令和3年度芝養生の ため休止)	・全部利用(人工芝 1面)
	夏期		・全部利用(天然芝 1面)
(7)ラグビー場	夏期	6月1日～10月31日 (芝生の状態により期 間の変更あり)	・全部利用又は一部利用(天然芝 2面)

区 分	期別	期 間	内 容
(8)軟式野球場	夏期	5月1日～10月31日	・全部利用(両翼 94m、中堅 120m、内野階段スタンド 500名、内・外野芝生スタンド 2,500名)
(9)硬式野球場	夏期	5月1日～10月31日	・全部利用(両翼 98m、中堅 122m、内野RCスタンド 2,000名、内・外野芝生スタンド 7,000名)
(10)陸上競技場 ・トラック ・インフィールド	夏期 夏期	5月1日～11月23日 6月1日～10月31日 (芝生の状態により期間の変更あり)	・全部利用又は個人利用(全天候型ウレタン舗装トラック [400m×8コース]、 インフィールド部分サッカー使用可 芝生スタンド 7,500名収容)
(11)合宿所	通年	4月1日～3月31日	・個人・団体利用(洋室16室80名、和室4室20名 計100名収容)
2. 施設の管理			
(1)保守管理等			・清掃、電気・機械設備等の保守業務、警備、園内巡回等 ・施設の修繕等維持管理 ・芝生(芝刈、施肥、エアレーション等)、樹木(剪定、支柱補強、施肥、冬囲い等)の維持管理
(2)休場日			・水泳プール、メインアリーナ、サブアリーナは月曜日及び 12月29日～1月3日 ・合宿所は12月29日～1月3日
(3)整備日			・プールの清掃[3月予定]

収 支 予 算 書
(正味財産増減計算書ベース)
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収益			
基本財産利息収入	1	1	0
② 特定資産運用収益			
特定資産利息収入	1	1	0
③ 施設管理業務費収益(道負担金)			
地方公共団体負担金収入	178,675	178,675	0
④ 施設管理運営事業収益(利用料金収入)			
施設管理運営事業収入	209,414	247,300	△ 37,886
⑤ 事業収益			
物品販売事業収入	772	834	△ 62
売上納付料収入	17,426	18,625	△ 1,199
スポーツ普及振興事業収入	29,650	34,387	△ 4,737
生活文化向上事業収入	50	90	△ 40
⑥ 雑収益			
受取利息収入	4	3	1
雑収入	70	70	0
⑦ 他会計からの繰入額			
他会計からの繰入額	-	-	0
経常収益計	436,063	479,986	△ 43,923
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	93,437	92,179	1,258
臨時雇賃金	22,364	22,544	△ 180
福利厚生費	15,448	14,892	556
報償費	284	284	0
旅費交通費	100	100	0
会議費	201	241	△ 40
通信運搬費	1,605	1,624	△ 19
減価償却費	1,077	1,077	0
消耗什器備品費	-	-	0
消耗品費	8,573	8,812	△ 239
修繕費	15,401	15,633	△ 232
印刷製本費	873	1,204	△ 331
燃料費	24,243	30,281	△ 6,038
光熱水料費	77,249	77,184	65
賃借料	5,426	5,232	194
保険料	1,190	1,236	△ 46
広告宣伝費	710	1,184	△ 474
諸謝金	18,880	19,785	△ 905
租税公課	23,464	25,866	△ 2,402
納付金	0	0	0
支払寄付金	0	100	△ 100
委託費	117,520	121,192	△ 3,672
原材料費	458	458	0
雑役務費	11,162	10,757	405
② 管理費			
役員報酬	10,500	10,500	0
給料手当	700	692	8
臨時雇賃金	981	1,717	△ 736
福利厚生費	1,640	1,620	20
会議費	29	29	0
交際費	100	100	0
教育研修費	-	-	0
旅費交通費	200	300	△ 100
通信運搬費	4	4	0

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減
消耗品費	255	200	55
修繕費	55	0	55
印刷製本費	56	56	0
賃借料	927	686	241
保険料	40	40	0
租税公課	477	8,939	△ 8,462
事故対策費	60	60	0
委託費	2,310	2,310	0
雑役務費	734	764	△ 30
支払利息	1	1	0
雑費	100	100	0
③他会計への繰出額			
他会計への繰出額	-	-	0
経常費用計	458,834	479,983	△ 21,149
当期経常増減額	△ 22,771	3	△ 22,774
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 22,771	3	△ 22,774
一般正味財産期首残高	114,872	114,869	3
一般正味財産期末残高	92,101	114,872	△ 22,771
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000	2,000	0
指定正味財産期末残高	2,000	2,000	0
III 正味財産期末残高	94,101	116,872	△ 22,771